

キリンビール 2014年2月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、マイナス。
- ビール計は、マイナスとなったものの、リニューアルした「一番搾り」がプラス。
- 発泡酒計は、マイナスだが、「淡麗グリーンラベル」はプラスと好調。
- 新ジャンル計は、前年同月に発売した新商品の裏返しもあり、マイナス。

《ビール》

- ◆リニューアルした「一番搾り」は好調で、特に缶は対前年約3割増となった。「一番搾り製法」の独自価値を改めて伝えていく活動を、全社をあげて進めたほか、国民的アイドルが登場する新CMも好評。

《発泡酒》

- ◆2月下旬から実施しているサッカーキャンペーンなどの販売施策により、「淡麗グリーンラベル」はプラスとなった。

《新ジャンル》

- ◆「のどごし〈生〉」は3月からCMを一新して積極投入するほか、増税前の需要拡大にあわせて、リニューアルを訴求する活動を最大化していく。

《RTD》

- ◆「氷結」「本搾り」など主カブランドが好調に推移してRTD計は2ケタ増。2013年4月以降、11カ月連続でプラスとなるなど好調を継続。

以 上